



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスティック  
コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成23年2月2日

(氏名) 鈴木 弘  
(氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年3月21日～平成22年12月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,330	30.2	211	358.6	194	444.8	121	753.0
22年3月期第3四半期	1,022		46		35		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第3四半期	8,936.55	
22年3月期第3四半期	1,047.68	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第3四半期	2,829	2,545	90.0	187,217.93
22年3月期	2,710	2,492	92.0	183,300.20

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,545百万円 22年3月期 2,492百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末
	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期				5,000.00
23年3月期				
23年3月期(予想)				4,000.00
				合計
				円銭
				5,000.00
				4,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,700	20.5	169	103.6	181	136.6	103	198.3	7,591.90

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 14,710株 22年3月期 14,710株

期末自己株式数 23年3月期3Q 1,113株 22年3月期 1,113株

期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 13,597株 22年3月期3Q 13,597株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
【第3四半期累計期間】 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、長期化する円高やデフレに加えて厳しい雇用環境による個人消費の低迷が続くなか、景気刺激策による内需拡大も限定的効果にとどまり、景気回復の兆しが見え隠れするも依然先行きは極めて不透明な状況が続いております。

そのような状況のなか、当社主力販売先であります自動車産業界におきましては、国内自動車メーカー各社はエコカー補助金による一時的な販売数量拡大もありましたが、補助金終了後の販売数量の落ち込みも織り込み済みでの設備投資計画は依然低迷しており、今後の新規計画も不透明な状況が継続しております。

他方海外自動車メーカーは中国を筆頭に、韓国も堅調な設備投資が継続しておりますが、円高により価格競争力が低下しており海外競合メーカーとの受注競争においては極めて厳しい状況にあります。

このような状況下におきまして、海外市場での受注拡大に基軸をおき、海外販売代理店の新規開拓、代理店教育による提案力及びサービスメンテナンス力の強化などによる販売体制の更なる充実をはかり、海外販売高の拡大に取り組むとともに、海外からの部品購入の模索や現地生産協力企業の開拓などによる生産コスト削減に注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高1,330百万円（前年同四半期比30.2%増）、営業利益211百万円（前年同四半期比358.6%増）、経常利益194百万円（前年同四半期比444.8%増）、四半期純利益121百万円（前年同四半期比753.0%増）となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、2,829百万円と前事業年度末比118百万円の増加となりました。

これは流動資産については、受取手形及び売掛金の増加などの影響により2,044百万円と前事業年度末比119百万円の増加となり、固定資産については、784百万円と前事業年度末比1百万円の減少となったことによるものです。

##### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、283百万円と前事業年度末比65百万円の増加となりました。

これは主に買掛金の増加11百万円、未払法人税等の増加27百万円などによるものです。

##### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,545百万円と前事業年度末比53百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が53百万円増加したことなどによるものです。

### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は607百万円となり、前事業年度末に比べて28百万円の減少となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは58百万円の収入となりました。

これは主に、税引前四半期純利益209百万円、たな卸資産の減少額66百万円などの増加要因があり、売上債権の増加額205百万円、貸倒引当金の減少額15百万円などの減少要因があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5百万円の支出となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があり、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出2百万円、投資有価証券の取得による支出2百万円などの減少要因があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは67百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払額67百万円の減少要因があったことによるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第3四半期累計期間につきましては、受注状況が当初予想を上回ったこと、加えて製造コストダウン及び経費の削減効果も相まって当初予想を上回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、国内の設備投資予想が極めて不透明であること、急激な円高により海外案件でのコスト競争力の低下が懸念されることもあり平成22年4月30日発表の従来予想を据え置くことといたします。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	658,318	686,797
受取手形及び売掛金	923,881	718,341
製品	58,718	76,709
原材料	334,536	342,187
仕掛品	45,427	86,039
その他	41,461	48,103
貸倒引当金	17,833	33,516
流動資産合計	2,044,509	1,924,663
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	113,333	123,054
有形固定資産合計	526,573	536,294
無形固定資産		
投資その他の資産	9,864	12,758
その他	248,602	237,061
貸倒引当金	500	500
投資その他の資産合計	248,102	236,561
固定資産合計	784,541	785,614
資産合計	2,829,050	2,710,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	75,400	63,743
未払法人税等	66,000	39,000
賞与引当金	4,884	17,586
役員賞与引当金	9,000	-
その他	57,021	35,168
流動負債合計	212,306	155,498
固定負債		
退職給付引当金	71,142	62,447
固定負債合計	71,142	62,447
負債合計	283,448	217,945

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,565,360	1,511,835
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,544,425	2,490,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,176	1,432
評価・換算差額等合計	1,176	1,432
純資産合計	2,545,602	2,492,332
負債純資産合計	2,829,050	2,710,277



(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)
売上高	1,022,049	1,330,580
売上原価	699,642	832,561
売上総利益	322,407	498,019
販売費及び一般管理費	276,217	286,199
営業利益	46,189	211,820
営業外収益		
受取利息	228	191
受取配当金	496	365
デリバティブ評価益	5,490	-
その他	1,672	829
営業外収益合計	7,887	1,386
営業外費用		
為替差損	18,423	18,601
その他	-	370
営業外費用合計	18,423	18,971
経常利益	35,653	194,235
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,889	15,683
特別利益合計	2,889	15,683
税引前四半期純利益	38,543	209,918
法人税、住民税及び事業税	8,795	82,092
法人税等調整額	15,502	6,315
法人税等合計	24,298	88,407
四半期純利益	14,245	121,510

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	38,543	209,918
減価償却費	18,916	14,341
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,007	15,683
賞与引当金の増減額(は減少)	12,621	12,701
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	9,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,762	8,695
受取利息及び受取配当金	724	556
為替差損益(は益)	13,563	14,388
デリバティブ評価損益(は益)	5,490	370
売上債権の増減額(は増加)	124,000	205,539
たな卸資産の増減額(は増加)	80,802	66,254
仕入債務の増減額(は減少)	17,111	11,657
その他	43,680	14,813
小計	235,176	114,958
利息及び配当金の受取額	790	579
法人税等の支払額	80,666	56,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,300	58,977
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	51,000	40,000
定期預金の払戻による収入	51,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	11,753	2,621
無形固定資産の取得による支出	2,480	-
投資有価証券の取得による支出	2,661	2,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,894	5,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	68,193	67,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,193	67,711
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,563	14,388
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	56,649	28,479
現金及び現金同等物の期首残高	389,918	635,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	446,568	607,318

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。